

第3回 八丈島デジタル活用協議会

令和3年8月4日（水）17:00-19:00

次第

- 1 第2回議事概要の承認
- 2 事業案の検討～実証に向けた今後の進め方（案）
- 3 各委員からの進捗報告
- 4 その他意見交換
- 5 第4回協議会開催予定日

1 第2回議事概要の承認 (別添参照)

2 事業案の検討～実証に向けた今後の進め方（案）

- ① 事業案について、提案者・提案に対して知見がある委員を事業案ごとに割り振り検討を加速
 - ※ スキームの詳細化に当たり一旦担当を割り振るが、意見交換は全委員参加可
 - ※ 各事業案の資料中「担当委員等」に委員名を記載。『◎』ついている委員等が検討の中心になることを想定

- ② 事業案ごとに検討を深化し、実証のスキームを構築（実証に要するコスト（特に公費投入部分）や、成果指標、実証後のイメージ等）。スキームができた段階から順次実証に向けた準備を開始
 - ※ メーリングリストも適宜活用

- ③ 進捗を協議会で適宜報告

- ④ 実証後には効果測定を行い、自走化に向けた検討を実施

スケジュール (案)

	2021年度										2022年度～	
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
事業案 (今年度)	事業案・ 実証スキーム 検討		実証 契約 準備	実証事業の実施・効果検証						次年度自走化スキーム の検討・準備		自走化
事業案 (中長期)	事業案・次年度実証スキーム検討										実証	
概要	○今年度実証事業案のスキーム確定（～8月） ○実証・契約準備（9月） ○事業案（中長期）については、継続検討			○実証事業の開始（10月中）			○効果検証・次年度自走化スキームの検討・準備					

デリバリーサービス（買い物代行含む）の導入

今年度

事業概要	<ul style="list-style-type: none">・既存デリバリー業者に島内に参画してもらい、デリバリーサービスを拡充・住民・観光客(ホテル、旅館、民宿)へのデリバリーだけでなく、買い物代行サービスも実施・島内運送会社、飲食店等の協力を得て実施 <p>※ 詳細は委員の提案書等を参照</p>
担い手	島内運送業者、飲食店
課題	<ul style="list-style-type: none">・事業採算性の確保・島内運送業者・飲食店の意向・デリバリーの範囲（30分以内の配達が可能か）
効果	<ul style="list-style-type: none">・住民、観光客の利便性向上・移動困難な高齢者の負担軽減（老人介護施設等への需要は一定数あり）
①実現可能性 ②継続性 ③民業圧迫	<ul style="list-style-type: none">①島内運送業者・飲食店に意欲があれば早期の実現可能（デリバリー事業者にも確認済み）②事業採算性の目安として月1000件の注文が必要（1日あたり約33件）③民業圧迫の可能性は低いが、店舗への来店者数が減ることを懸念する飲食店がある可能性
担当委員等	◎事務局、日本郵便、八丈町商工会、八丈島移住定住協議会

デジタルスクールによるIT人材の育成

今年度

事業概要	<ul style="list-style-type: none">・八丈島で活躍できるIT人材の育成を目的としたスクールを開講・プログラミング、HP作成、映像作成技術等をオンライン+島へのスクーリングにより教えていく。・デジタルスクールを通じて就業を斡旋。島に住んだまま働けるような就業先を用意・移住につながるよう、スクールを通じて島の魅力を感じてもらおう。・島民にデジタルサイエンスに興味を持ってもらえるような工夫 <p>※ 詳細は委員の提案書等を参照</p>
担い手	ICT事業者
課題	<ul style="list-style-type: none">・八丈島の魅力を感じてもらえる授業の工夫（スクーリングの工夫）・受講後、移住定住につなげるための工夫・プロモーションの方法（八丈島に興味のある人材、スキルを身に着けたいと考えている人材への的を絞ったプロモーション）・デジタル関連以外の講座の拡充（実証後、順次検討か）
効果	<ul style="list-style-type: none">・IT人材の育成による島内デジタル活用の活性化、産業振興・移住定住促進
①実現可能性 ②継続性 ③民業圧迫	<ul style="list-style-type: none">①オンライン・既存の施設等を活用し、受講希望者及び講師の目途が立てば実証は可能②受講者の確保や受講後のIT人材の島内での活用方法について工夫が必要③なし
担当委員等	◎ネットラーニング、サイエンスクラブ、八丈島TENNEI

リモートコンサート

今年度※

事業概要	<ul style="list-style-type: none">・八丈町が管理する多目的ホール「おじゃれ」にて、遠隔地のコンサート会場等のミュージシャンと同時演奏・ネット配信できるよう施設整備・コロナウィルス対策下でもコンサートを開催可能なホールとしてプロモーションを実施
担い手	八丈町役場（施設管理者）
課題	<ul style="list-style-type: none">・現状の通信環境で実施可否・コロナ禍後の需要
効果	<ul style="list-style-type: none">・エンターテインメントの提供・島の文化発信、観光誘致
①実現可能性 ②継続性 ③民業圧迫	<p>①通信環境が整っていれば実現は可能（社会課題解決に資するかという観点からすると、優先順位は後ろか）</p> <p>②継続的な企画、需要が見込めるかは不透明。利用がないと採算が合わなくなる。</p> <p>③なし</p>
担当委員等	◎事務局、NTT東日本

※短期での実施は可能だが、エンターテインメント関係のため他の実証より優先順位は低く設定

島内二次交通の充実

中長期

事業概要	<ul style="list-style-type: none">・観光客向け、住民向けという観点から、既存の交通サービス（バス、タクシー等）の棲み分けを実施した上で、AI運行バス、デマンド型交通、ライドシェア、カーシェアリングサービス等を効果的に導入・特定の交通サービスだけではなく、島の交通サービス全般を一つにまとめて案内できるアプリ・サービスの導入 <p>※ 詳細は委員の提案書等を参照</p>
担い手	島内運送事業者、ICT事業者、通信事業者、住民、八丈町役場
課題	<ul style="list-style-type: none">・二次交通については、過去に検討や実証を行ってきたが抜本的な解決に至っていないことから、協議会に留まらず広く検討を進める必要あり。・観光財団等のアドバイザーも活用し、島に合った最適な取組を検討か。
効果	<ul style="list-style-type: none">・島民、観光客の利便性向上・観光客の増加
①実現可能性 ②継続性 ③民業圧迫	<ul style="list-style-type: none">①関係者を巻き込んだ中長期的な検討が必要であり、今年度中の実証は困難②利用客の少ない路線や、新たなシステムを導入するコストを考慮すると事業採算性を確保することは困難。利用者負担の在り方を検討する必要がある。③実証の内容によっては影響が出る可能性が高い（タクシー、レンタカー事業者）。
担当委員等	◎八丈島観光協会、NTTドコモ、NTT東日本、七島信用組合、八丈島移住定住促進協議会、八丈町商工会、みずほ銀行

その他事業案

以下の2事業案については、過去の経緯等も踏まえ、八丈町役場が主体となつて検討を進めるため、協議会では扱わない。但し、デジタル技術の活用に当たり、各委員の知見等が求められた場合には適宜協議会で意見交換、助言等を行う。

事業案①	観光案内サインの設置促進、デジタル技術の活用
課題	<ul style="list-style-type: none">・案内サインの設置コスト・デジタルサイネージの場合、屋外に設置することの耐久性の問題
効果	<ul style="list-style-type: none">・周遊観光の利便性向上、リピーターの獲得
現状	過去に観光財団で補助事業を活用した経緯がある。観光アドバイザーの意見を踏まえ、20～30か所の効果的な設置場所について町役場に要望を行い、そのうち10か所程度について、3～4年前に設置。残りの箇所について引き続き八丈町役場が主となり取組を継続予定

事業案②	町立病院における診察予約システムの導入
課題	<ul style="list-style-type: none">・システムの導入コスト
効果	<ul style="list-style-type: none">・待ち時間短縮に伴う島民の負担軽減
現状	過去に町役場に要望があり検討が進められていた経緯がある。病院受付業務の受託事業者側の都合等があり実現に至らなかった。引き続き八丈町役場にて、既存の受付業務の契約状況を踏まえながら検討

3 各委員からの進捗報告 (資料は非公開)

4 その他意見交換